

# せいろう

Seiro Town

# 議会だより



B S O

R H Fc

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
聖葦	0	0	0	1	0	0					1
新 潟	0	0	0	0	0	0					0

Vol.125

## 12月議会

平成31年  
1月18日発行

新潟県聖籠町議会

**目指せ! 全国制覇!!**  
**(県選抜野球大会 優勝)**

**新年のおいさつ**  
10人が一般質問

2~3ページ  
9~19ページ  
委員会レポート



# 2019

# 謹賀新年

町民の声を大切に

住みよい町づくりに努めます

聖籠町議会議員一同



## 新春を迎えて

### 議長 田村 富美男



## 町の未来を 見つめて

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

一昨年は、町制施行40周年を迎え、昨年は新しい町長が誕生するなど、本町も少しずつ時を刻んでいます。

本町は、長年にわたり不交付団体となっておりますが、財政調整基金は、決して潤沢とはいえません。こうした中、今、町では行財政改革に取り組んでいます。

行財政改革について町民の皆さまにご理解をいただくため、町では学区ごとに説明会を開催いたしました。

議会としては、この行財政改革も含め、さまざまな事業をしっかりとチェックし、そこに町民の皆さまの声を反映できるように、これからも努めてまいりたいと思います。今年も、町民の皆さまの健康と幸せを祈念致すとともに、議会に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

# 「小学校の入学前支援実施へ」

## 一般会計補正予算

### 主な歳入

- 介護給付費等負担金（国庫、県費）  
743万円
- 重度心身障害者医療費助成事業補助金  
378万円

### 主な歳出

- 重度心身障害者医療扶助費  
756万円
- 介護給付費等扶助費  
991万円
- 子ども医療扶助費  
711万円



▲今日も安全運転で

**主な質疑**  
バス運転員異動の理由は  
中村恵美子議員「子ども園バスの運転員が総務課へ異動になり、総務課にいた臨時職員が運転員を務めていると聞けが、その理由は。」

**職員の体調不良のためである**  
町長「総務課の運転員が」

体調を崩し、運転員が不在となったため、急ぎょことも園から総務課への人事異動となった。また、総務課にいた臨時職員が大型免許を保有しているため、子ども園の運転員として異動してもらった。

体調不良であった職員は現在体調も回復し、業務に携わっている。体調に支障がない状態であれば近々に子ども園へ運転員として人事異動を考えている。



# 12月定例会

議員報酬、特別職の給与、並びに職員の給与に関する条例の一部改正など11議案を全て可決。

平成30年12月4日～10日(会期7日間)

**条例改正**  
国の人事院勧告に伴い引き上げ  
議員報酬及び費用弁償等に関する条例  
特別職の給与に関する条例

**主な質疑**  
平成30年度の人事院勧告で、特別職の国家公務員の期末手当の引き上げの改正が行われることから、町の議員、特別職(町長、副町長、教育長)の期末手当を引き上げるための改正です。平成30年12月期の期末手当が0.05月の引き上げです。

**一括提案しなかった理由は**  
高松守雄議員「今回、3つの条例を、一括提案しなかった理由は何か。町長は、行財政改革の一環で、給与の20%減額を選挙公約にし、実現し

**議論**  
町長「3つの条例改正については、法制執務上、一括提案しても問題は無い。各自自治体の考え方で提案できる。今回、議会の方から、個別の提案でという要望があった。公約で掲げた給与20%削減は、特別なものなので、町長の本来の給与と条例とは違うと思っている。議員各位の報酬の減額については、町長の給与減額とは別なものだと思っている。」

**主な質疑**  
初任給のアップを  
五十嵐利栄議員「職員の大卒、高卒の給料は、採用されてから、2年目に国の指導の上げ率を採用している。ちなみに、新潟県の初任給は、国の指導よりも、高い率にしている。若い人の生活等を考慮し、初任給の額を上げるべきと考える。」

**条例改正**  
宿日直手当なども引き上げ  
職員給与に関する条例

**議論** なし  
採決 賛成10反対2で可決

**人事院勧告を守っている**  
町長「新潟県は、人事院の委員会があるので、県独自で決められる。当町は、従来、国からの人事院勧告に従い、給料体制を守っている。」

**議論** なし  
採決 全員賛成で可決

**条例改正**  
町長選の公約実現  
子どもの医療費助成に関する条例

**議論** なし  
採決 全員賛成で可決

**固定資産評価審査委員会に中村忠彦さん(新任)**  
固定資産評価審査委員会委員の園山昌晴さんが平成30年12月19日で任期満了になることから、後任に中村忠彦さん(道賀新田)が選任されました。全員賛成で同意しました。

### 遺跡発掘進捗状況は

〔五十嵐利栄議員〕 社会教育総務費内の臨時雇賃金は、正庵地区の遺跡発掘に係る賃金と思うが、作業の進捗状況は。

また、発掘に係る経費は全て町負担か。発掘物についてはどうなる。

また、正庵地区の宅地開発はいつ頃の予定か。

### 本発掘は11月に終了

〔社会教育課長〕 本発掘調査は11月に終了している。臨時雇賃金は遺跡発掘と直接的な関係はない。試掘については全額町負担となるが、本調査については原因者負担であり開発業者が負担することとなる。

発掘物に関しては復元し、調査報告書をまとめて県へ提出となる。

しかし、復元から調査報告書までの作成に係る経費負担については業者と協議中である。

〔ふるさと整備課長〕 埋蔵文化財が見込んでいたよりも多く、現状、年内に宅地開発を行うことは難しい状況である。



▲猛暑の中おつかれさまです（遺跡発掘）

### 就学援助費の見込みは

〔中村恵美子議員〕 就学援助における新1年生1人当たりの金額は。また、見込み人数は。

### 22人を見込んで

〔子ども教育課長〕 新規事業である小学校入学前支援の1人当たりの金額は40600円である。22人を見込んでいます。



### インフルエンザの現状は

〔宮沢光子議員〕 都心部でインフルエンザが流行している。今後、本町でも流行の可能性があるが、本町での実態等把握しているか。

### 実態は把握していない

〔保健福祉課長〕 インフルエンザの罹患率について正確な実態等は把握していないが、インフルエンザ予防接種の希望者は診療所へ来院している。



▲夜間診療も始まった診療所

### ●聖籠町行財政改革大綱案を作成

### ●子ども医療費助成の拡充

### ●企業主導型保育事業と連携

## 行政報告



にしわき 西脇町長

▼聖籠町行財政改革有識者会議を設置し、11月7日までの2カ月間で計5回行い、去る11月19日に有識者会議の会長から「行財政改革に関する意見書」を提出いただきました。町では意見書を踏まえ行財政改革大綱の案を作成しました。

▼子ども医療費の助成を来年度4月1日から、高校卒業年齢まで助成対象を拡充します。

▼ざぶくん館の新源泉のポンプ設置は、11月29日に県から許可をいただきました。排水管の清掃等を行い、12月22日には温泉供給できる予定です。当日、記念式典を実施します。

▼農業関係については、米の作況指数は、県全体で95、本町を含む下越北は90でした。

J A北越後農業協同組合聖籠ふれあい営業所の水稲うるち玄米の一等米比率は、59・8%で、昨年比19・4ポイント低下しています。

▼港湾関係では、9月11日から14日までの4日間、「国際物流総合展2018」に出展し、新潟東港のPRをしました。

▼国の幼保無償化により、町の子育て施策、幼稚園の通常保育料無償化に代わる新たなブランドをどうするか大きな課題となっています。

▼保育園の平成31年度の新規入園希望者は11月1日現在、0歳児71人、1歳児44人、2歳児13人の計128人から申請があり、継続児童191人を合わせると、合計319人で、昨年度比11人増です。これに対応するため保育園の認可定員の増員を図ります。

▼来年4月、蓮野長峰山地区において、企業主導型保育事業として開園予定の「さくらんぼびっこ保育園」と連携し、事業推進の継続をします。

## 読者の声

### 私にできることは…



ほんま えりな 本間絵理奈さん (山諏訪山)

今回、議会だよりの原稿を依頼され、何を書いたら良いのか、鉛筆を持っては置いて、持っては置いてを繰り返して、何も書かずに3日が過ぎてしまいました。

私は聖籠町で生まれ、聖籠町で育ちました。学生時代には長岡市、結婚したばかりの頃は新潟市に住んでいました。が、縁あって、主人と聖籠町に戻り、子育てをすることにになりました。

現在住んでいる地域では、若い子育て世代からおじいちゃん、おばあちゃん世代まで、たくさんの方たちに囲まれ、楽しく生活しています。

下の子の小学校入学を機に仕事を始めた私にとって、放課後の児童クラブは大変助かっています。さらに毎週土曜日の週末体験クラブは子どもたちが楽しんで参加しています。

このように恵まれた環境での子育てができるのも、職員、スタッフの皆さんのおかげと、感謝しています。今後も続けてほしい事業の

ひとつです。町に期待するだけでなく、この町で子育てをする私には何ができるのか考えてみました。毎回、お手伝いできるわけはありませんが、小学校のボランティアに時々参加させてもらっています。子どもたちの笑顔は町の宝物です。その宝物のために、まずは私たち親が一人一人何ができるのか考えていかなければならないのだと思います。

# みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となり  
ます請願1件を審査した結果は継続審査となりました。

## 継続審査とした請願

◎消費税率10%増税の中止または延期を国に求める  
請願書

〔提出者〕 新発田民主商工会聖籠支部長 中村登

## 請願（陳情）書の書き方

町民の皆さんの意見、要望などを町政に反映させる方法のひとつとして請願・陳情の制度があります。

請願書・陳情書は、請願（陳情）する方の住所、氏名を署名または記名押印して、紹介議員（陳情の場合は不要）2人以上の署名または記名押印を受け、請願（陳情）の要旨、理由を記載したものを議長あてに提出してください。

### 【記載例】

（表紙）

〇〇に関する請願（陳情）書  
紹介議員 〇〇〇〇 印  
※陳情の場合、紹介議員不要

（内容紙）

〇〇に関する請願（陳情）書  
要旨・・・  
理由・・・  
（要旨・理由を簡単に要領よく記載してください。）  
平成 年 月 日  
聖籠町議会議長 〇〇〇〇 様  
請願（陳情）者の住所  
氏名 〇〇〇〇 印

## 副町長に 夏井智毅さん



なつ い とも き  
夏井 智毅さん  
（二本松）

夏井智毅さんは、平成15年4月に厚生労働省職員として採用され、労働衛生に関する業務に従事した後、内閣府、環境省での勤務を経て、島根及び沖繩労働局において労働基準部の課長を歴任されました。

夏井智毅さんは、平成15年4月に厚生労働省職員として採用され、労働衛生に関する業務に従事した後、内閣府、環境省での勤務を経て、島根及び沖繩労働局において労働基準部の課長を歴任されました。副町長としてのご活躍を期待します。

## 第5回臨時会

10月26日、平成30年第5回臨時会が1日間の会期で開かれました。

1議案を討論なし、無記名選挙で行われました。投票総数13票で、賛成12票、反対1票の賛成多数で同意しました。

ズバリ  
直言!!

# 一般質問 町政を問う

- 12月議会では、10議員から町政を問う一般質問がありました。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、2月末に町ホームページに掲載される予定です。

## 10議員が質問

宮沢 光子 議員

- 届いているか一般町民の声をどう考える通学の在り方

P10

高松 守雄 議員

- 町長の政治姿勢について

P11

五十嵐 利栄 議員

- 他市町村との差別化政策は
- 基盤整備の推進計画は
- 1億円達成の具体的手段は

P12

長谷川 六男 議員

- 町民に理解得られるか
- 未操業地の早期解消を
- どう取り組むか評価

P13

宮沢 さやか 議員

- 老朽化する学校施設
- クレジットカードによる
- 収納環境の整備を

P14

中村 恵美子 議員

- 各事業をどう考えるか
- 国に対し負担増を
- 今後の農業者対策は

P15

小川 勝也 議員

- 行財政改革の進行状況は
- 町道の補修工事は進んでいるか
- 図書館の利用者減っているか

P16

田中 智之 議員

- どう展開する聖籠版CCRC
- 中学校に部活動指導員の登用を

P17

青木 順 議員

- 農業支援をどう考えるか
- さぶくん館に新たな設備を
- 安全な遊び場を確保せよ

P18

小川 益一郎 議員

- 平成31年度予算身の丈に
- 行財政改革はしがらみ克服を
- さぶくん館の改革急げ

P19



みやざわ みつこ 議員

# 届いているか一般町民の声

## 町長 町政ポストを通して3件

**問** 9月7日から「有識者会議」は5回開かれて、終了した。5回の会議を全部傍聴したが、有識者の意味を考えさせられた。行財政改革の対象になった町の各事業の詳細を、委員全員が理解していたであろうか。

**町長** 今後も「有識者会議」の設置を考えているのか。

**町長** 開かれた町政を運営する上で「有識者会議」は、重要だと考えている。必要に応じて設置したい。

**問** 国をはじめ、各自自治体で開かれている「有識者会議」について、世間では、かなり批判の声がある。今後、「有識者会議」の設置が、頻繁に行われることによって、議会の形骸化につながるのでは

と危惧している。議会をどう思っている。

**町長** 今回は、役場内部だけで行財政改革を検討するのでなく、実務的な有識者会議の意見を聞き取った。議決機関である議会と町執行部での議論は当然である。

**問** 広報せいろう11月号に「有識者会議」の中間報告で、11項目の事業の改革案が掲載された。広報を見た町民から声が届いているか。

**町長** 11月22日現在、町政ポストを通して3件の意見が届いている。

**問** 可燃ごみ袋が無料配布されていることは、聖籠町の全町民に対するサービスの一つである。今回の改革案で、有料化を検討していると記載された。多くの町民から無料配布は継続すべきという意見を聞いたがどうか。

**町長** ごみに関する事業全般を検討する必要性があった。ごみ袋を即有料化するというご意見はない。



▲「杜」で集まり楽しいおしゃべり会

**問** 「交流館杜」の飲食事業をやめて、利用があるたび、鍵を開けるといいう改革案は、今まで継続的に利用していた町民を遠ざけることになる。年間約4500人が利用している事業を売上額うんぬんだけで判断していいのか。

**町長** 県の補助金の趣旨を生かしながらの事業な

**問** 中学生の「冬季通学バス運行事業」の見直しも「有識者会議」で議論された。遠距離通学の小学生も含めた通学の在り方を学校、保護者と本気で議論すべきである。既存の子ども園のバスを使う案をどう考えているか。

**教育長** 園バスの利用が可能か、シミュレーションしている。今後、学校・保護者と通学の在り方について、意見交換を行う。

## どう考える通学の在り方

### 教育長 学校・保護者と意見交換を行う

# 町長の政治姿勢について

## 町長 今後の取り組みを見てほしい

市町村合併に対する基本姿勢について、我が町は承知のとおり、「当分の間、市町村合併はしない」と町民の総意をもって決定していると理解している。

いずれまた、新たな議論が再燃しないとも限らない。

**問** 現状において、市町村合併について町長の考えは。

**町長** 現時点では合併の必要性を感じていない。

**問** 国からの方針が出た場合、取り組むのか。

**町長** 基本的に現時点では取り組む考えはない。

**問** 仮に合併の場合、新発田市か新潟市かいずれの選択肢を考えているか。

**町長** 合併を考えていないので、新発田市、新潟市の選択も考えていない。

**問** 町長の政治的スタンスについて、町長は8月の選挙で当時の現職と戦い劇的な勝利を収めたが、西脇町長に期待し推薦し

た支持者は大勢いたと思う。

その中で保守・革新と色分けするならば、一般町民は別として国会議員・県議員・町会議員はじめ、政党では共産党などいわゆる革新と称される皆さんの支援が大きかったと理解している。

**町長** 町づくりにおいて、多くの町民の方々から理解いただき一緒に町づくりに進めていく。これが基本的な基礎自治体の首長としての政治スタンスと考えている。

**問** 総合戦略に基づいて今後の町政運営をつかさどっていく中で、行政改革などの公約に掲げた政策はもちろんだが、基本的に今の聖籠町の現状を考えた場合や国・県の動向などを含めて、これからの町づくりに当たってはどうかあるべきか考えているか。

また、町長は基本的に政治家としてのどのような政治思想や政治信条を持っているか。

**町長** 行財政改革を進めて安定した行財政運営をしていくために丁寧に町民に説明し、公共事業もこれからの予算編成の中で確保していく。政治思想に対する私の考えを話す場でもないの

で、個々の政策に対するこれからの取り組みを見てもらいたい。



▲町役場の新体制に期待



たかまつ もりお 議員



いからし 五十嵐 議員

# 他市町村との差別化政策は

## 町長 具体策を検討中である

**問** 国の政策で、来年10月から全国の市町村で幼保無償化が実現する。これが実現すると、当町が実施していることも園無料政策は他自治体との差別化ではなくなる。こども園無料政策は、人口流入増加に貢献してきたが、新たな政策を考えていると思う。どこまで具体化しているか。

**町長** 国の政策が実現すれば、平成18年度から実施してきた当町のブランド施策のこども園の通常保育料無償化が他の自治体との差別化ではなくなる。次のブランド施策が大事であることは認識している。

現在、町総合教育会議を中心に検討を進めている。

**教育長** 保育から教育の世界に歩み出す園児たちに、どのような教育を施して小学校教育へつなげていけば良いか検討している。



▲心身ともに大きくなあれ

# 基盤整備の推進計画は

## 町長 2022年度着工 111億円計画

**問** 今年の水田農業は、水稲、大豆共に収量、そして品質面でも前年比で大きなマイナスとなった。試算では、前年対比約2億円の経済損失で、農家にとっても、町にとっても大きな打撃である。天候による作況のマイナスを防ぐには、基盤整備が急務である。基盤整備の年次計画と、国・県・町の負担金額は。

**町長** 圃場整備計画は町内6地区で予定している。計画面積は576ヘクタール、総事業費は1億1800万円程度である。早い地区は2022年度に工事着工の計画である。

負担割合は、国55億6千万円、県33億3500万円、町11億2千万円となっている。

**産業観光課長** 残り11億円強はガイドラインとして農家負担で試算している。今後、集積などの条件を満たしていけば農家負担は限りなくゼロに近くなる。

# 1億円達成の具体的手段は

**町長** PRと返礼品種類の拡大

**問** ふるさと納税新潟県内の昨年の実績は64億円で、聖籠町は30市町村中22位の2700万円強であった。町長のふるさと納税1億円を目指すという公約は基本的に賛成で、さらなる上積みを目指すべきと考える。しかし、11月時点での今年の実績は前年を下回っている。返礼品メニューの拡大や中身の検討が必要でないか。

**町長** 県内で寄附額の多い市町村を参考に、次の2点の取り組みを考えたい。

1点目はPRの拡大を図る。具体的にはポータルサイトを増やす。

2点目は返礼品の種類を増やしていく。

# 町民に理解得られるか行財政改革

## 町長 基本的な考え方を説明する

**問** 環境美化推進事業を廃止したら、町の景観やイメージを損なうが、どう考える。

**町長** 廃止するという表現は使ったことはない。ボランティア活動をより一層促進する。

**問** 廃止すると、可燃ごみの指定袋の使用頻度が増え、無償配布分がなくなると、町民の負担になるがどう考える。

**町長** 賛否両論の意見があると思うので、どういう方向性を目指すべきか議論していきたい。

**問** 臨海西公園は廃止し、その他の公園は維持管理の在り方を検討するとあるが、具体的にどのようなのか。

**町長** 臨海西公園は休止状態にする。その他の公園は、どのような維持管理の在り方が良いのか基本的な考え方を整理する。

**町長** 子どもの通学する路線、交通量が多く、危険度の高い路線、これらを優先する。消雪パイプの新設については、要望の内容をもとに整備していく。

**問** 既存の循環バスがなくなると、不便が生じるとの声もあるがどうか。

**町長** 財政状況とのバランスも見ながら、要望に応えられる対策があるのか今検討している。

**問** 生ごみ堆肥化事業を

**町長** 臨海西公園は休止状態にする。その他の公園は、どのような維持管理の在り方を検討するとあるが、具体的にどのようなのか。



はせがわ 六男 議員



▲すてきな景観をいつまでも

# 未操業地の早期解消を

## 町長 企業誘致に取り組む

**問** 新潟東港企業からの税収に依存している本町にとって、東港工業地帯の未操業地の早期解消は

喫緊の課題である。近隣の首長はじめ、国・県との連携と関係強化し、町のトップとしていかに税収を、増やしていくかの改革もやってほしい。

**町長** 聖籠町企業立地促進条例の拡充を図り、企業誘致に取り組んでいく。まだ就任して3カ月であり、正直、顔が売れているわけではない。これから、一生懸命に知名度を高めていきたい。

# どう取り組むC評価

## 教育長 時代の流れに対応

**問** 青少年健全育成体制の充実の中で、検討する新たな取り組みとは。

**教育長** 新たな取り組みとして、平成29年度からこども110番の家の点検・調査をお願いしている。

**問** 文化団体の担い手不足に対して、町がどこまで支援できるのか。

**教育長** 一時的には担い手を確保するための、機会や場所を提供する。場合によっては、予算措置も検討する必要がある。

**教育長** 各集落別に講演のため、講師を呼ぶのか。また、年齢層は。

**問** 各集落で講演会のため、講師を呼ぶのか。また、年齢層は。



みやざわ さやか議員

# 老朽化する学校施設 早急な対策を

## 町長 国の補助制度を最大限活用

**問** 老朽化している各学校施設の改修を今後どう進めていくのか。

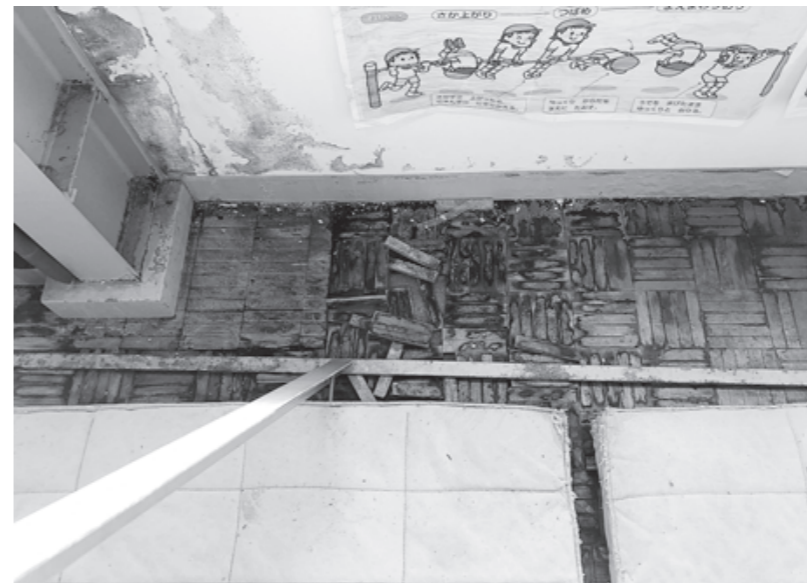
**町長** 学校施設の個別の長寿命化計画を策定中。国の補助制度を最大限活用していきたい。

**問** 小学校体育館の雨漏りによる床やタイルの不具合が見受けられる。授業等での安全面を考慮し、早急な対策が必要では。

**教育長** 学習環境面で憂慮すべき事項。国の補助制度を活用し、小学校体育館の天井を撤去、同時に雨漏り改修を行うことを考えている。

**問** 以前、小学校・こども園トイレの洋式化について質問した。各園の洋式化の現状は。

**教育長** 平成29年度に改



▲雨漏りでひどくなった床（亀代小学校）

修を実施。蓮野こども園の1つを除き、全て洋式化している。

**問** 男女共用の職員トイレに關しての対応策は。

**教育長** こども園から要望は届いていない。現状を確認し検討。

**問** 小学校トイレの洋式化については「各担当課と協議、補助金等の活用可否も含めて計画的に進めたい」と前教育長から

答弁があった。現状のトイレ改修状況は。

**教育長** 具体的計画は作成していないが、老朽化し、悪臭等の環境改善の必要性もある。計画的に改修していきたい。

**問** 学校のトイレには、全洋式化、乾式化、節水、災害対策の4点が求められる。

どう考えているか。

**教育長** 時代が求める重要な要素と認識している。

**問** 多様化への配慮の観点から、多機能トイレの必要性についてはどう捉えているか。

**教育長** 不便なく利用できる環境は、改修の際に必要な観点の1つとして重要と捉えている。

## クレジットカードによる 収納環境の整備を

### 町長 県内自治体の動向を注視

**問** 県内2市町でも導入されている、クレジットカードを活用した収納環境の整備を検討しては。

**町長** 多種多様な条件整備の対応が望まれるが、導入には経費の増大が懸念される。県内自治体の動向を注視していく。

**問** 費用について試算はしたのか。

**町長** 試算はしていない。

**問** 費用対効果とよく言われるが、納税に当たり、何をもって効果があったとするのかは難しい。

納税者の利便性と住民サービスを第一に考えれば、現代に沿った納付環境の整備が重要と捉えている。

**町長** 手数料の負担等考慮すべき点があり、今すぐ結論を出すことは難しい。

# 各事業をどう考えるか

## 町長 それぞれの考え

**問** はすがた園の職員の人材確保で施設強化を行うべきでないか。

**町長** これまでも3回にわたり聖籠福祉会の職員募集のチラシを配布し、支援を行ってきた。今後も、効果的な取り組みをしたい。

**問** 不妊治療は、時間とお金がかかるため、助成の拡充をすべきでないか。

**町長** 本町では、1治療当たり10万円を限度として妻の年齢が40歳未満で治療を始めた場合は43歳になるまで、通算6回。40歳から治療を始めた

場合は43歳になるまで通算3回まで助成が受けられる。合わせて県の助成も、受けられる。

**問** 現在ある空き家除去費補助制度は使いにくい。使いやすいできないか。

**町長** 空き家除去をすることは、お金がかかり簡単ではない。空き家活用等に関するアドバイスなどの対策をしたり、制度の周知をする。

**問** 就学援助は、現在、町では、生活保護基準の1.1倍である。1.5倍をめどに引き上げるべきでないか。

**教育長** 生活保護基準の1.1倍は、全国や近隣自治体と比較すると、低い値である。制度の趣旨から見ると、引き上げについては、検討の必要がある。

## 国に対し負担増を

### 町長 引き続き要請する

**問** 国民健康保険税の町民負担が少なくなるよう、国に働きかけをすべきでないか。

**町長** 一般会計からの繰り入れがないよう国は、3400億円を出している。引き続き継続できるように働きかけをしていく。

**問** 介護保険の限度額を超えた場合に、軽減制度をつくり、使いやすくなりべきでないか。

**町長** 公費を投じた軽減制度をつくることは負担の公平性から慎重にするべきと考える。

**問** 入院や通院等で前年より収入が減っている場合は、新潟市、新発田市のように国民健康保険税の減免の制度ができるようにすべきでないか。

**町長** 近隣自治体に聞いたところ、ゼロもしくは一、二件であった。税の公平性から、この制度自体を検証してみる必要がある。

## 今後の農業者対策は

### 町長 農業委員会など力を合わせ支援を

**問** 農業だけでは生活できず離農者が多い。後継者対策はどうするのか。

**町長** 農業委員会など力を合わせて補助制度の活用やハード・ソフト面から効果的な支援を行う。

**問** 灯油の高騰で農家負担が増えているが、助成できないか。

も考えられるので、社会動向等を注視していきたい。

### その他の質問

振興券や住まいる券はどう考えるか。



▲新しくスタートした「はすがた園」



なかむら えみこ議員





おがわ かつなり 議員

活動していただいている方々があり、さらにこの活動の拡充を促進する。

### 町道の補修工事は進んでいるか

#### 町長 予算の範囲で計画

**問** 循環バス事業の見直しと、デマンドタクシーの導入はいつごろか。

**町長** 来年度から開始できる環境が整った部分から、順次、利用者の特性に応じた交通体系へ移行していきたい。

**問** 生ごみ堆肥化事業撤退はいつごろか。

**町長** 今年度末をもって廃止すると考えている。

今後は、事業を継続して運営する事業所・団体等の公募をしながら、施設の有効利用が図れるよう、検討を進める。

**問** 環境美化事業はいつやめるのか。

**町長** 財政上、現状のまま維持するのは困難。歳出予算を縮小する。現在もボランティアで

**問** 町道、文化会館、各小学校の、補修工事は進んでいるか。

**町長** 道路白線の補修は、予算の範囲内で行っており今年度は7・8キロメートルを計画している。

**教育長** 文化会館については、現在、実施中の劣化診断の結果を見て計画する。

各小学校の補修については、学校生活に支障を来すおそれのあるものに関しては、現場を確認の上、当初予算に計上している。また、緊急度の高いものは、補正予算計上し、対応している。

**問** 聖籠町歴史資料展示館「いにしえ」の利用は進んでいるか。

現在もボランティアで

**教育長** 平成29年度は、集落の寄り合いや春まつり、秋まつりなど、5回、延べ48人の利用。

**問** 蓮のギャラリーの利用状況は。

**教育長** 創作工房は、絵画サークルなど4団体がおおむね週1回の定期利用。利用者数は、今年度4月から10月末まで、1068人である。

**問** 蓮瀧子ども園隣の預かり施設「そだちの家」の日中の利用状況は。

**教育長** 平成29年10月から現在まで、一般利用の実績はない。

### 図書館の利用者減っているが

#### 教育長 足を運んでもらえるように検討

16人である。

**問** 小学校の放課後学習クラブの開設はいつになるか。

**教育長** 12月から週2回の実施、現在31人が登録している。

**問** 図書館の利用者が減っているが今後の対応は。

**教育長** 入館者数について、図書館に来る高齢者にとって、足を運ぶことが困難になっており、定期的に迎えに行く方策を検討している。



▲図書館に行こう!!

**問** 文化会館の各イベントの参加状況は。

**教育長** 各イベントの参加状況は、11月現在33

加状況は、11月現在33

## どう展開する聖籠版CCRC

### 町長 まずは行財政改革だ

平成28年、本町では国が進める地方創生を受けて「聖籠版CCRC」構想が浮かび、平成29年度、5回の有識者会議を経て構想の骨子が固まった。

当初、本町のCCRCの目的は首都圏のシニア世代移住による人口増だった。しかし、平成29年度に提出された報告書では多世代共生型の機能を持つこと、CCRCが地域包括ケアシステムに組み込まれ、その核の一つとなることなどを主目的

とされた。また、この事業は民間事業として誘導するものであり、その立地・配置についても具体的に示された。

国による構想から3年。紆余曲折を経てようやく町民のための「聖籠版CCRC」が具体化され、新しい地域社会の形として期待が高まっていたが、現在この事業が進んでいない。

**問** 生涯活躍のまち構想における目玉施策であったか。

た「聖籠版CCRC」の現状と、今後の方向性をどう考えている。

**町長** 現在、町では聖籠福祉会や社会福祉協議会との連携の中で、いろいろな高齢者の福祉政策を実施している。

しかし、全てが順調な状態ではない。今までやってきた事業、新たに起こした事業、これらを軌道に乗せることが重要である。

聖籠版CCRCは否定するものではないし、町民にも多様な意見があることは承知している。先進事例等を情報収集しながらも、まずは喫緊の課題である行財政改革を行い、町の事務事業の在り方が整理されたところまで考えていく。

## 中学校に部活動指導員の登用を

### 教育長 来年度の配置を要望済

昨年4月、中学校や高校の部活動に外部顧問を採用することが可能になった。これを導入した学校では、教職員の負担解消や専門的な技術指導による生徒の技量向上などの効果が出ている。

国が進める働き方改革の最重要課題として「長時間労働」の是正が必要とされている。教職員のワーク・ライフ・バランスを図るためにも部活動



▲外部コーチの指導でレベルアップ

指導員の導入は喫緊の課題であり、町の責任でもある。

**問** 聖籠中学校から部活動指導員の要望はないか。

**教育長** 聖籠中学校からの要望を確認した。

県教育庁保健体育課に来年度の配置を要望している。

**問** 県内では5市町村で指導員が登用されている。それらの市町村や県との情報交換はあるか。本

町に導入する際の課題は。

**教育長** 5市町村との情報交換はしていないが、近隣市町村とは行っている。導入する際の課題は人材と予算の確保である。



たなか ともゆき 議員



あおき じゅん 青木 順議員

# 農業支援をどう考える

## 町長 計画的に進める

**問** 台風被害による、農家からの支援要請はあったか。

**町長** 大半の被害は軽微なもので、町に具体的な支援要請はなかった。

**問** ぶどうの雨よけハウスの支援件数、支援総額はどの程度か。また、即時対応可能か。

**町長** 町にぶどうの雨よけハウスは10・9ヘクタールある。全部更新すると、1億8530万円となる。10アール当たり170万円で計算すると町補助金は6630万円が見込まれる。計画的な対応になる。

**問** 梨も甚大な被害だったが支援策は考えてないか。

**町長** 町独自の支援策は

考えてない。

**問** 基盤整備の進捗状況と、整備が遅れた理由は。

**町長** 6地区で圃場整備を計画している。新発田地域振興局、聖籠土地改良区などが一体となった協議会設立を年明けに目指している。

遅れた理由は、新新パイプスの建設などの公共工事が立て続けに入った

ことなどで、地域の人が基盤整備に向け動くのが難しかったのではと推測する。

**問** 観光資源としての海の活用はどんな計画か。

**町長** サーフイン、セーリング、釣り、海遊び、大自然を体感できる場所作り、豊かな漁場整備のため、漁業協同組合や関係機関と協議していく。



▲町の特産を守る（雨よけハウス）

## ざぶくん館に新たな設備を

### 町長 さらに協議を進めたい

**問** ざぶくん館の経営改善の進捗はどうなっているか。

**町長** 割引券をもっと配布してはどうか。町民の利用率を上げるために、サウナにテレビを入れたり、裸にならない岩盤浴など検討できないものか。

**町長** 沸かし湯対応が続いているため、前年度の

## 安全な遊び場を確保せよ

### 教育長 利用する子どもの安全確保に努める

**問** 町内にある公園で、危険な遊具がある所、壊

れているものがある。

素早い対応で子どもたちが元気に遊ぶ場、ママ友のコミュニケーションの場としても細かく対応できないか。

**教育長** 集落や利用者からの連絡も含め危険状態の早急な把握を行いたい。

**その他の質問** 新発田川の河川敷の不法投棄が後を絶たない。

# 平成31年度予算身の丈に

## 町長 事業見直し反映

**問** 平成31年度の新予算も間もなく編成されるが、西脇町政の初めての新予算となるので、西脇カラ―が鮮明に町民に分かるように編成してもらいたい。

毎年70億円規模の予算であるが、類似団体と比較すると大型予算である。身の丈に合った予算とし、財政調整基金の積み増しをする。不測の事態に蓄えてもらいたい。平成31年度の当初予算規模はどのくらいか。

**町長** これから予算編成作業の中で私が公約した

来年度から実施したいと表明している施策を盛り込みながら、あわせて行財政改革による事業見直しのできるものは反映させた予算編成を行いたい。

財政調整基金についても、いざというときの頼みの綱であるので、可能な限り積み立てに努力したい。



▲新源泉に期待（ざぶ〜ん館）

**問** 行財政改革は有識者会議の答申を尊重し、問題点については、過去のしがらみを克服し、PDCAサイクルを回しながら実行に移してもらいたい。

**町長** 行財政改革は有識者会議において、町の主要事業など、町民生活に影響の大きいものについて、その見直しの方向性の案を、町側から示し、

将来像を踏まえると、現状のまま継続することは困難である。

選挙公約についても、町民との約束を果たすため取り組みを進めたい。

## ざぶ〜ん館の改革急げ

### 町長 新源泉の開始に期待

**問** ざぶ〜ん館の温泉掘削は今年度の大事業である。ざぶ〜ん館の使命は町民の福利厚生・健康増進、観光、雇用拡大の3つである。町はざぶ〜ん館に毎年1千万円近い金額を助成している。

ざぶ〜ん館の経営改善計画は道半ばである。

新規の温泉掘削に1億2千万円もの投資をした。12月22日に開湯、温泉祭りをし、これを契機に誘客ができることを期待したい。

**町長** 今年度の最大事業であることを認識し22日からの営業開始に引き続き経営改善等に努めたい。

## 行財政改革はしがらみ克服を

### 町長 各事業の継続は困難

PDCAサイクルを回しながら実行に移してもらいたい。

#### 一口メモ

※PDCAサイクル  
計画・実行・評価・改善を繰り返し、継続的に改善していく手法のこと



おがわ ますいちろう 小川 益一郎議員

## 三条市のデマンド交通を視察

### 総務文教

11月14日、地域公共交通の先進地である三条市で視察・調査を行った。平成の大合併後、三条市では公共交通の課題が浮かび上がった。マイカーの増加による公共交通不採算路線の拡大。空白地帯の拡大。子育てや福祉事業における公共交通の必要性の高まり等である。

そこで平成19年、「地域公共交通総合連携計画」を策定し実施。その中心が高齢化社会における地

域公共交通の柱、デマンド交通である。三条市の公共交通にはJR線、民間の路線バスとタクシー、市が民間委託した通学バスと市内循環バス、タクシー車両を利用したデマンド交通があり、それらが役割を果たしつつ相互に補充し合っている。公共交通体系の抜本的見直しは、難題ではあるが、本町にとっても緊急の課題である。

(文責 田中智之)

## 水道法改正に伴い調査

### 厚生産業



12月7日、厚生産業常任委員会を開催し、一般会計を含む7議案を審査した。

議案第63号について、子ども医療費助成が拡充される。満15歳から満18歳となる。およそ720万の町負担増となり、対象者は、450人程度である。

また、報道等で騒がれているが、水道法の改正により、水道事業が民営化できることについても議論した。官民の連携強化、人口減少に伴う収入減を見込んだ運営経費の削減が狙いだ。

民間運営になると利益優先のため、水質の悪化や、水道料金の値上げなどさまざまなケースが予想される。

聖籠町は民営化する予定はないとのことである。

(文責 青木順)



# 話し合った レポート

12月7日、厚生産業常任委員会を開催し、一般会計を含む7議案を審査した。

議案第63号について、子ども医療費助成が拡充される。満15歳から満18歳となる。およそ720万の町負担増となり、対象者は、450人程度である。

また、報道等で騒がれているが、水道法の改正により、水道事業が民営化できることについても議論した。官民の連携強化、人口減少に伴う収入減を見込んだ運営経費の削減が狙いだ。

民間運営になると利益優先のため、水質の悪化や、水道料金の値上げなどさまざまなケースが予想される。

聖籠町は民営化する予定はないとのことである。

(文責 青木順)

## 聖籠町議会基本条例制定に向けて

### 議会運営

議会運営委員会は、議会基本条例制定に向けて、小委員会を設定し、基本条例の大まかな項目について、9月議会広報でお知らせしました。

その後10月・12月にかけて、4回の小委員会と1回の議会運営委員会・小委員会の合同会議を開催し、章および条ごとの文案をつめています。

今後、当初スケジュールに基づいて、3月議会での上程と審議、そして制定を目指して作業を進める予定です。

現時点での章ごとの主な構成は次のようになっています。

○前文  
条例制定の決意を述べています。

○第1章 総則  
町民全体の福祉の向上と活力ある町づくりを述べています。

○第2章 議会及び議員の活動原則  
(議会の活動原則)  
議会全体の活動原則について、5つの活動原則を定めています。

(議員の活動原則)  
議員個人の活動原則について5つの原則を定めています。

○第3章 町民と議会との関係  
(情報の公開と共有)  
町民は町に関する情報を知る権利があり、情報の共有を規定しています。

(態度公表)  
議員個々の意思表示を公表することを規定しています。

(町民参加及び町民との連携)  
議会と町民がいつでも意見交換できることなどを規定しています。

(東港立地企業との意見交換)  
本町における産業の中心である東港企業との意見交換を通して、議会運営に反映させることを規定しています。

○第4章 議会と町長等の関係  
(一般質問及び反問権)  
本会議での一般質問について、一問一答方式で行うことと町長等が議員に対して反問する権利を認めていることを規定しています。

○第5章 議会及び議会事務局の体制整備  
(議長及び副議長志願者の所信表明)  
議会の透明性を高めるため所信表明を規定しています。

○第6章 政務活動費

# 見て聞いて 委員会



(政務活動費の執行及び公開)  
条例に基づき交付するものです。

○第7章 議員定数・報酬・政治倫理  
(議員定数・議員報酬)  
議員定数及び議員報酬について規定しています。

○第8章 最高規範性  
この条例が議会における最高規範であることを定めています。

○第9章 見直し手続

本条例について2年に1回検証することを規定しています。

(文責 五十嵐利栄)

# たぴこ ほのぼの ファミリー



かしま なおこ  
**鹿嶋 直子**さん  
(蓮野)

## 家族に感謝の気持ちでいっぱいです

### Q ご家族の構成は

夫婦と子ども1人、愛犬2匹です。2匹の愛犬は同年齢で、我が家の大事な家族の一員です。

### Q 聖籠町に住んで何年ですか

14年経ちました。最初、数年間、東山団地に住んでいましたが、宅地を探して家を建てました。聖籠町は住み心地が良くて、友人知人もたくさんできました。

### Q 町に思うことは

さまざまな形で、国際交流の施策をお願いしたいです。

今年、AFSのホストファミリーに登録して、カナダの高校生を我が家に迎えました。高校生を通し、カナダという国の文化に接しました。私たち家族にもできる、小さな国際交流でした。

### Q 日々のスケジュールは

息子の部活を応援している毎日ですが、保護者の皆さんとの交流も楽しく、張り合いがあります。息子が幼いとき、自分



自身で子育てサークルを作りました。そのときの友達の輪が広がり、今、小さなお子さんを育てているママたちの子育て支援的な活動をしています。我が家やサークル仲間のお宅で活動をするときも多く、忙しいながらも楽しい毎日を送っています。そんな私のやりたいことを理解し、応援・協力してくれている家族に感謝しています。

## お知らせ

～ information ～

☆ 議会を傍聴にきませんか

今回の定例会は、**3月5日(火)** 開催です。

午前9時30分から開会します。お気軽に傍聴においでください。また、本会議のようすを「エフエムしばた」で放送します。ラジオやインターネットで聞くことができます。ぜひお聞きください。

### ★表紙の写真★

「目指せ！全国制覇!!」

(県選抜野球大会 優勝)

小学校6年生選抜野球大会において、見事聖籠町の選抜チームが優勝しました。

(提供 青木 順 議員)

### 編集委員のつぶやき

12月議会も終わり編集作業が進む中、今年もあと2週間となりました。

聖籠町も24年ぶりの新町長誕生があり、行財政改革の機運が高まっています。

一方、自分の周りでは、身内の入院、家屋の解体等、自身も大変大きな変革の1年でした。来年は、いよいよ平成最後の年で、変革めじろの押しです。

4月には、議会基本条例制定予定、8月の町議会改選、そして、10月の消費税10%への増税と、本年以上の変革です。

毎年の大きな変革に自分自身も時代に押しつぶされないうように柔軟に適応し、最善の努力をして力を発揮したいと思えます。

広報広聴常任委員会

副委員長 小川勝也

### 発行責任者

議長 田村富美男

### 広報広聴常任委員会

委員長 宮沢光子

副委員長 小川勝也

委員 中村恵美子

渡辺 豊

長谷川六男

宮沢さやか

発行 新潟県聖籠町議会

編集 広報広聴常任委員会

〒957-0192 新潟県北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1635-4 TEL (0254) 27-1967 FAX (0254) 27-6133

議会だよりは町のホームページでもご覧になれます

聖籠町議会

検索

せいろう議会だよりは、資源保護のため再生紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。